

中国の住宅—中庭の平面形状についての考察

八代研究室
00412209 新道 隆広

1. 序文

中国の伝統的家屋の代表といえ北京四合院があげられるように、中国住宅と「院子」と呼ばれる中庭との関係性は非常に深い。日本の庭文化も中国から吸収消化して、茶道・華道・禅と結びつき独自の道を辿りその伝統文化を形成してきたともいえる。

本研究では中国住宅の本質を探るべく、その重要な要素である中庭に焦点を絞る。中国は世界一の人口と広大な国土を有する多民族国家だけに気候・風土・文化の違いは多種多様であり、本稿では中庭の平面形状について地域的観点から考察する。

2. 分析方法

表-1の劉敦楨著『中國住宅概説』所収の明清時代の住宅の中から寸法と方位が明らかな住宅を分析対象とする。図-1はその事例で、両者ともに四合院系住宅であるが、個々の中庭については左の事例は4面家屋、右の①②は3面家屋、③④は2面家屋と分類し、それぞれの中庭の寸法を東西(x)-南北(y)方向として図-2に示す。さらに図-3では各住宅の主要な中庭(図1右では②)に絞って図示した。

表-1 分析対象(劉敦楨著『中國住宅概説』より)

NO.	図番/頁 (中国住宅概説)	所在・名称	院子寸法(公尺)			積	類型	呼称
			X	Y	積			
1	図 63/頁 75	江蘇省鎮江市北郊の住宅	6.5	1.5	10	曲屋住宅	—	
2	図 64/頁 76	浙江省杭州市玉泉山の住宅	8.5	6	51	曲屋住宅	—	
3	図 65/頁 77	江蘇省嘉定縣南翔鎮の住宅	17.5	12	210	曲屋住宅	—	
4	図 66/頁 77	江蘇省吳光福鎮の住宅	3	2.5	7.5	曲屋住宅	院子	
5	図 67/頁 77	江蘇省鎮江市洗菜園の住宅	8	8	64	曲屋住宅	院子	
6	図 68/頁 78	四川省広漢県の住宅	18	7	126	三合院住宅	—	
7	図 69/頁 78	江蘇省鎮江市洗菜園の住宅	5.5	3.5	19.5	三合院住宅	院子	
8	図 70/頁 79	広東省広州市石牌村の住宅	4	3.5	14	三合院住宅	天井	
9	図 71/頁 80	上海市順家宅路・顧氏の家	7.5	4	30	三合院住宅	院子	
10	図 73/頁 81	湖南省湘潭県・毛主席の旧宅①	11	11	121	三合院住宅	—	
中 略								
47	図 80/頁 87	上海市四平路の劉氏の家	12	12	144	四合院住宅	院子	
中 略								
84	図 90/頁 92	北京市地安門付近の住宅①	18	13	234	四合院住宅	院子	
85	図 90/頁 92	北京市地安門付近の住宅②	12	18.5	222	四合院住宅	院子	
86	図 90/頁 92	北京市地安門付近の住宅③	4.5	8	36	四合院住宅	院子	
87	図 90/頁 92	北京市地安門付近の住宅④	4.5	8	36	四合院住宅	院子	
中 略								
190	図115/頁111	福建省永定県・客家族の住宅	26.5	6	159	三合院+四合院	院子	
191	図118/頁114	福建省永定県の環形住宅1	12	12	144	環形住宅	院子	
192	図119/頁115	福建省永定県の環形住宅2①	5.5	3	16.5	環形住宅	院	
193	図119/頁115	福建省永定県の環形住宅2②	16	16	201	環形住宅	院子	
194	図119/頁115	福建省永定県の環形住宅2③	12	8	96	環形住宅	院	
195	図121/頁117	河南省鞏県巴閭郷の窑洞式住居1	—	—	—	窑洞式住居	—	
196	図122/頁118	河南省鞏県巴閭郷の窑洞式住居2	14	6.5	91	窑洞式住居	院子	
197	図123/頁119	河南省鞏県巴閭郷の窑洞式住居3	11	18	198	窑洞式住居	院子	

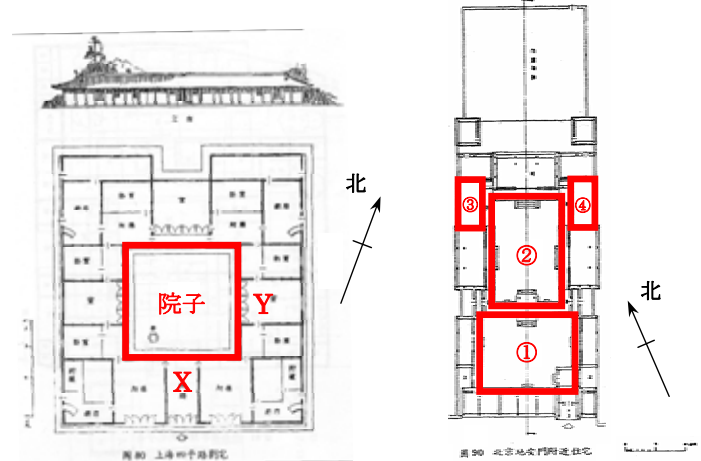


図-1 住宅事例(左 NO.80、右 NO.84-87)

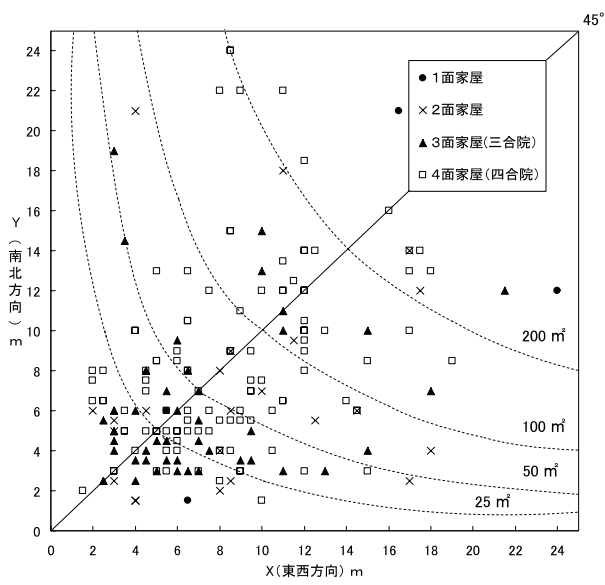


図-2 中庭の形状

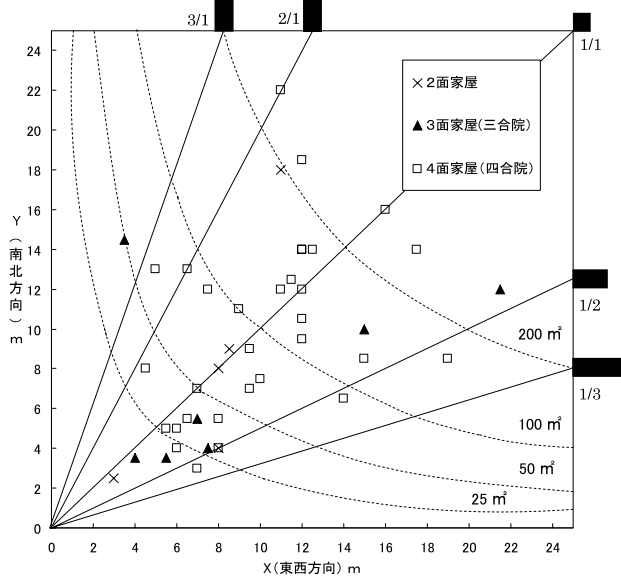


図-3 主要な中庭の形状

3. 分析結果

図-2、図-3より中庭の周囲家屋面数からみると全体的に4面家屋（四合院）の占める割合が高く、面積も面数に比例して大きくなっている傾向にある。また中庭の形状は $X:Y=1:1$ の正方形を主体としてほぼ $1:2$ の縦横比で納まる形状となっている。

図-4では緯度と面積との関係から緯度（北緯）の上昇に伴い右肩上がりの分布がみられ、北方地域の中庭面積が大きいことがうかがえる。また図-5に示す地域的傾向として横長の庭の分布が北西方向の傾き即ち南面に開ける庭の形状の傾向にあることがわかる。中国でも元来、南面の採光と、室と庭を意識した住宅づくりが基本となっているといえる。

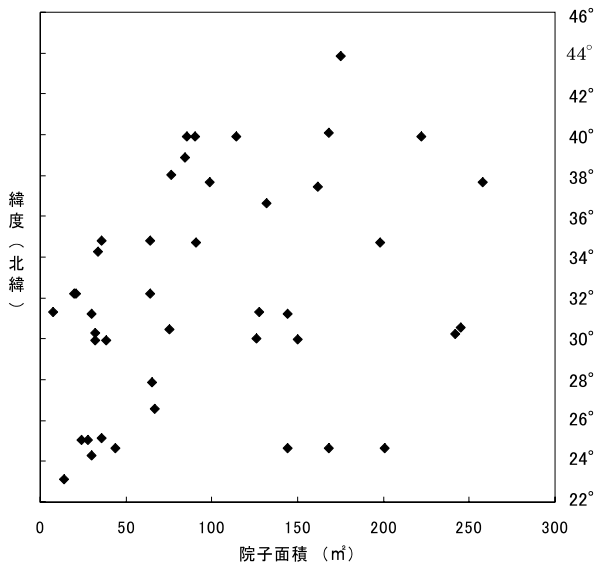
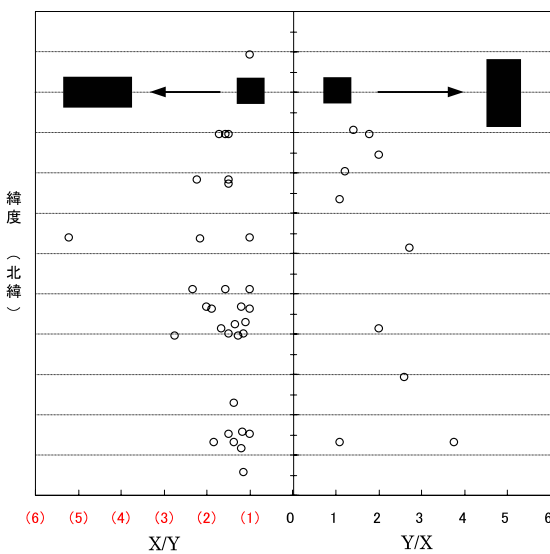


図-4 中庭の面積と緯度との関係



4. 考察とまとめ

中国の住宅における「庭」の多種多様な形状を調査・分析して明らかとなったことは広く普及するのはやはり基本的な形であり、それは普遍の原理である。日本の建築や文化の礎が中国から来たものであるとすれば、今日の日本住宅の間取りや形も四合院を連想することができる大変興味深い結果となった。

【参考文献】

- ・『中国の住宅』劉敦楨著（田中淡・沢谷昭次訳）
- ・『中國住宅概説』劉敦楨著
- ・『中華人民共和国地図集』帝国書院

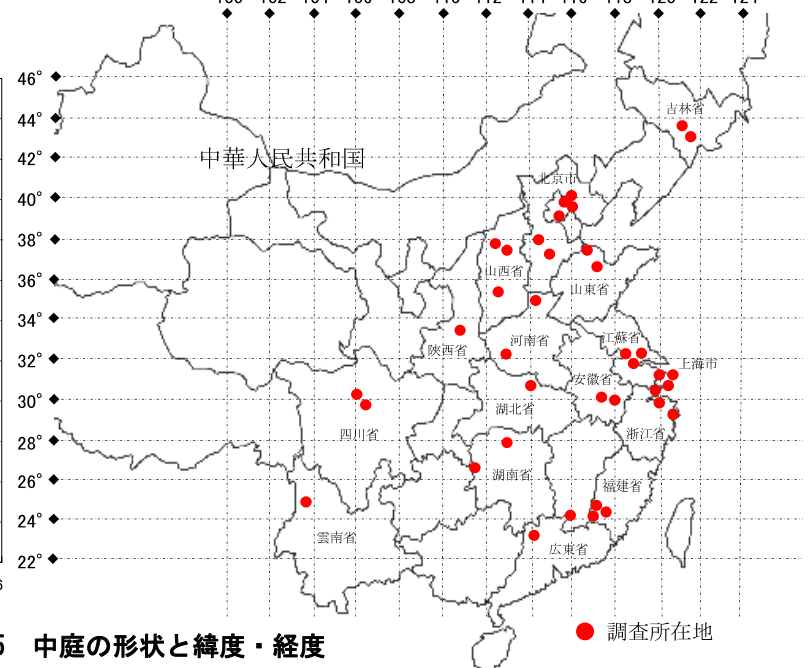
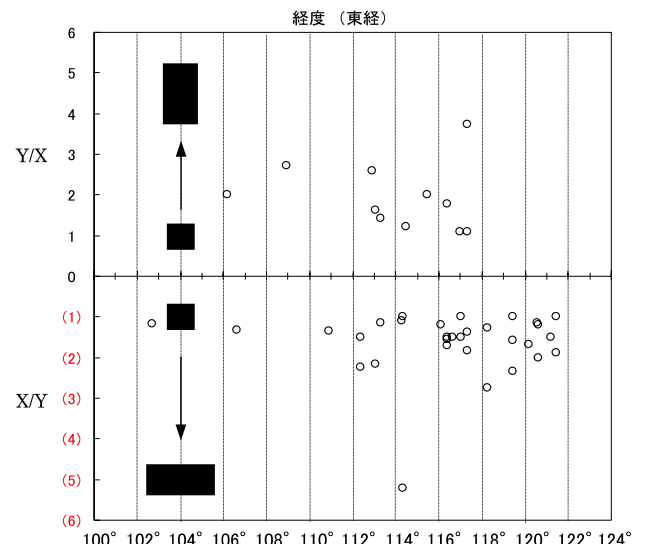


図-5 中庭の形状と緯度・経度